

● 移住交流支援センターだより ●



NPO法人
グリーンバレー
の伊藤が
お届けします。

NPO法人
グリーンバレー
☎088-676-1177
IP : 2028

空き家相談会を

開催しました。

今年度の固定資産税納税通知書に、お家長生きプロジェクトについてと空き家相談についての、2種類のパンフレットを同封させていただきました。また5月24日には、役場図書室にて空き家相談会を開催。電話や窓口での個別相談も合わせて、4月以降にこれまでに10件の相談がありました。

相談者の希望に沿う活用の方を提案していくとともに、お寄せくださった相談を参考にしつつ、空き家施策の検討を進めて参ります。今年度は複数回の空き家相談会開催を予定し、個別の空き家相談も、役場産業観光課または移住交流支援センターで随時受付いたします。お気軽にご相談ください。

新規移住 相談件数

4月…13件
5月…16件



今月のインタビュー

2018年4月に移住された秋山さんご一家を紹介します。真一郎さんは「雨もりドクター」という屋号で、建築リフォーム業をされています。

〈移住のきっかけ〉

絢子 子どもが生まれてから、漠然とどこかに移住したいと思っていました。具体的に移住先を探し始めたのは次女が生まれてからで、愛媛から神山まで家を探しに何度も足を運びました。

真一郎 仕事の方も、建築リフォーム業で働き始めて13年、独立して4年になるタイミングでした。今の仕事に固執するつもりはなくて、次の10年は全く別の仕事

をしてみたい気持ちもあります。だから、新しいことにチャレンジしやすい、神山の雰囲気にも惹かれました。

〈仕事について〉

真一郎 今の神山には建築リフォームの仕事が必要とされていると感じるので、できるだけ継続していくつもりです。自分で建物を改修することに興味のある人が町内には結構いるようで、作業を覚えたいという施主さんがいれば、一緒に作業できる機会を作ることがあります。また自分で改修してみたい人には、作業の手順だけをアドバイスすることもあります。

〈神山での暮らしについて〉

絢子 町からもそんなに遠くなく、想像よりも不便ではありませんでした。小児科くらいでしょうか、ちよつと遠いなど思ったのは。真一郎 休日は家族で町まで出かけることが多いです。淡路島も案外近くて、何度かド

ライブに行きました。いつも神山に帰ってくるとほっとします。住むには神山がちょうどいいですね。

〈今後の抱負〉

真一郎 いつかは建築以外の仕事も、神山で始めてみたいです。神山の木材を東南アジアに輸出できたら面白いかもしれません。グローバルな人やモノの交流を作ってみたいです。

絢子 8月に3人目の出産を予定しているのですが、しばらく子育てに明け暮れていると思います。1度落ち着いたら、畑や田んぼの手伝いをやってみたいです。

